

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業—CIS 活動報告(フィリピン)

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業運営委員会 委員 菅哲男
接合科学研究所 客員教授

本年度 6 ケ国目の CIS(カップリングインターンシップ)を、10月27日~11月9日の期間にフィリピン(セブ)で開催しました。大阪大学外国語学部2名、工学研究科2名、デ・ラ・サール大(DLSU)社会学部2名、理学部・工学部2名の計8名の学生が参加しました。現地では2日間の事前研修を行い、溶接基礎知識の講義(講師:接合研の村川教授)、日本企業の理念、コミュニケーションや課題解決力の講義(講師:言語文化研究科の横江特任教授)などを受け、30日から5日間の企業実習に臨みました。実習先のツネイシ・ヘビー・インダストリーズ(THD)社(常石造船の子会社)で、会社説明(組織、業務内容、安全・品質管理)を受けると共に、現場見学・実習(切断/溶接、造船工程、設計)、CISの課題に

関する幹部とのインタビューやTHIのCSR設備(大学、病院)の見学を行いました。課題として「日系企業の社会貢献とは何か」を設定し、その問題解決策について真摯に取り組みました。最終日の7日には、THI社で学生は課題の検討結果についてプレゼンテーションを行いました。最終報告会には、THIの岸田取締役、DLSUのMelanie准教授、大阪大学の大上教授、村田教授、横江特任教授、菅客員教授ら計46名の参加があり、盛況裏に終了しました。THIよりは、学生の提案は大変参考になるとの賛辞がありました。学生からは「CISに参加してよかった」との感想が出ていました。文理融合でのCISを通して、コミュニケーション力や課題解決力の習得ができており、大変意味のある活動でした。

